

予算特別委員長報告

予算特別委員会での審査の結果、いずれも賛成多数で原案どおり可決しました。

これを受け、3月11日の本会議で、本委員会の酒入忠昭委員長が、平成27年度関係議案58件と平成26年度関係議案15件について審査の経過と結果を報告しました。

以下、要望事項の主なものについて、ご報告します。



本会議で報告する酒入忠昭委員長

【要望事項】

● **平和行政**については、NPT再検討会議の成功に向け、核兵器禁止条約の締結に向けた動きを前進させるよう取り組むこと。

また、被爆70周年記念事業は、その意義を十分踏まえ、より多くの市民が参加できるように取り組むこと。

● **入札不調の多い現状の改善**とともに、優良な事業者の育成のため、指名競争入札の導入など、引き続き

き入札制度の見直しを検討すること。

また、工物品質の確保のため、技術職員の養成に努めること。

● **災害に強いまちづくりの推進**に当たっては、市民への防災意識の高揚に向けた取り組みを一層強化するとともに、今後作成するハザードマップについては、地域の実情に合った、より分かりやすいものとなるよう意を用いること。

● **上下水道事業**については、市民生活に不可欠なサービスの提供を将来にわたり安定的に継続するため、また、厳しさを増す経営環境の変化に適切に対応するため、組織体制の見直しも含め、経営の効率化、健全化に向けてなお一層努力すること。

● **不登校・ひきこもり、いじめ**の早期解決に向け、教育現場において児童生徒の立場に立った指導ときめ細かい状況把握に努めるとともに、状況把握が困難なケースで

は、児童相談所や警察などの関係機関とも連携し、適切に対応すること。

● **特別支援教育**の一層の充実を図るため、特別支援学校の児童生徒数の大幅な増加に対応できる教育環境の整備を早急に検討すること。

● **有害鳥獣対策**については、捕獲計画を達成するための必要な措置を講ずるとともに、住民の生活における被害についても、適切に対応するよう努めること。

また、捕獲鳥獣の食肉加工・流通の取り組みに対する支援を検討すること。



イノシシ

● **都市近郊農業**については、学校給食など地産地消を推し進めるとともに、多様な担い手の育成など農業者の活力が出るような施策を推進すること。

● **障害者の自立**に向け、本市において知的障害者や精神障害者を雇

用するワークステーションの増設や、就労支援を行うジョブ・ライフサポーターの体制強化、障害者就労支援施設等からの物品等の調達の拡大などにより、障害者雇用の拡大と就労支援の充実に努めること。

● **75歳以上の高齢者の大幅な増加**により、**介護保険料の上昇**が見込まれる中、高齢者の負担を軽減し、介護保険制度の持続可能性を高めるため、地域包括ケアシステムの構築など、介護保険料を抑制するためのさまざまな取り組みを推進すること。

● **道路の安全**を確保するため、維持管理に必要な予算を確保し、異常が発見された場合には、迅速に必要な措置を講ずること。

特に、未然に事故を防ぐため、路面下空洞調査の結果を踏まえた道路の適切な維持管理に、より一層取り組みこと。

● **以上**、申し述べました要望事項のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘ならびに要望や意見、さらには各会派から提出された要望事項についても、今後の行政執行に当たって、十二分に反映していただくよう併せて要望しておきます。

議会トピックス②

勇退議員
今期（平成27年5月1日まで）をもって勇退する議員は、次の5名です。



山本 誠 (7期)



平野博昭 (8期)



月村俊雄 (9期)



清水良三 (3期)



田尾健一 (6期)

平成27年度予算の概要

主なものは次のとおりです。

【総務関係】	被爆体験の継承・伝承	18億5,932万6千円
【厚生関係】	高齢者が地域で安心して暮らしていくための支援	870億6,757万3千円
【経済観光環境関係】	中小企業金融対策	220億3,800万円
	観光の振興	8,723万円
	災害廃棄物処理	41億3,955万円
【建設関係】	道路・橋りょう整備	157億7,840万円
	災害に強いまちづくりの推進	36億1,365万1千円
【消防上下水道関係】	配水施設整備事業	65億870万3千円
	公共下水道整備	139億5,224万5千円
	小学校整備	90億7,989万8千円
【文教関係】		

全会計 1兆1,820億7,795万円
一般会計 6,067億3,901万7千円